

自然共生の 未来を探究する 連続ワークショップ

循環・つながり・創造を思考する

豊かな自然の恵みを楽しんで発展してきた佐渡の第一次産業は、現在、自然環境や社会の変化に伴うさまざまな課題と直面しています。業種の垣根を超えて対話し、新たな視点で課題を捉えることで、自然共生という視点から、未来の可能性を描くことを目指します。

Program

インスピレーショントークのあと参加者間で対話する「学ぶセッション」と、変化を生み出すためのプロジェクトを構想する「描くセッション」を通して、自然共生に向けた新たなアクションやしくみづくりを考えます。

学ぶ

学ぶセッション (全3回)
会場 | あいぽーと佐渡

第1回 6/30 (木) 18:00-20:00

自然と産業の可能性を
新たな視点から考える

クリエイティブに物事を発想する思考について学び、
各産業の強みと課題を整理する。

第2回 7/1 (金) 18:00-20:00

「循環」や「つながり」を見出す

自然共生を推し進める制度的戦略を学び、
産業の好循環をイメージする。

第3回 7/28 (木) 18:00-20:00

「創造」の可能性を模索する

IoT、AIなどを活用した先進事例を学び、
問題解決の可能性を膨らませる

描く

描くセッション (全2回)
会場 | トキ交流会館大ホール

第4回 8/18 (木) 18:00-20:00

佐渡島で実現したい未来とは？

第5回 8/19 (金) 18:00-20:00

自然共生の島を育むプロジェクトを構想する

参加者 募集

参加申込 / 問い合わせ先

メールで以下の情報をお知らせください。

① お名前 ② メールアドレス

新潟大学 佐渡自然共生科学センター
コミュニティデザイン室 (豊田・北)

community-design@cc.niigata-u.ac.jp

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、予定や開催形態を変更する場合があります。



自然共生の未来を探究する連続ワークショップ

循環・つながり・創造を思考する

講師紹介

第1回
6/30(木)

第2回
7/1(金)



谷中 修吾

BBT 大学 経営学部グローバル経営学科 学科長・教授 / BBT 大学大学院 MBA 教授
地方創生イノベータープラットフォーム「INSPIRE」代表理事

静岡県湖西市出身。ビジネスプロデューサー/クリエイティブディレクター。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻卒。外資・戦略コンサルティングファーム Booz Allen Hamilton にて、政府機関・民間企業の戦略立案・実行支援を経て現職。国内最大級の地方創生イノベータープラットフォーム「INSPIRE」を立ち上げ、超絶まちづくりの集合知を社会にシェアする取組を展開。地方創生分野において、内閣府、総務省、環境省、農林水産省、文部科学省で有識者を務める。

環境ビジネス分野では、環境省「グッドライフアワード」総合プロデューサー、環境省「地域循環共生圏プラットフォームの在り方検討委員会」委員、OECD（経済協力開発機構）農村イノベーション委員会のエキスパート委員などを歴任。慶應義塾大学 SFC 研究所「地域デザイン・ラボ」総合プロデューサー。世界 30ヶ国を遍歴し、国内外の地域創生に専門知見を持つ。著書『最強の縄文型ビジネス』（日本経済新聞出版社）で、1万人のビジネスリーダーが選ぶ「TOPPOINT 大賞」にてベストビジネス書として受賞。



第3回
7/28(木)



村岡 元司

NTT データ経営研究所 執行役員/パートナー

大手商社、シンクタンクを経て、2001年6月より現職。環境エネルギー分野を中心に、地球温暖化対策、事業戦略策定、スマートコミュニティ構想策定、環境インフラ輸出支援、エネルギーを起点としたまちづくりなど、幅広い実績を持つ。寄稿、講演多数。

著書に『PFI ビジネス参入の戦略』（B&T ブックス）、『図解 企業のための環境問題』（東洋経済新報社）、『環境倒産』（B&T ブックス）、『実践 PFI 適用事業』（ぎょうせい）、『成功する！ 地域発ビジネスの進め方』（かんき出版）、『詳解 排出権信託 制度設計と活用事例』（中央経済社）、『環境ビジネスのいま』（NTT出版）（いずれも共著）等



大川 英敏

NTT データ デジタルビジネス推進部 食農ビジネス企画担当 部長
経団連 農業活性化企画部会 委員

2003年にNTTデータ入社、システムエンジニアとして金融系のお客様を担当。

プロジェクトマネージャー、企画、営業、コンサルなど幅広い経験を持つ。

2017年には中央大学ビジネススクールにてMBAを取得し、現在は、「食と農で働く人とITの距離を縮めるサービス創造を通して、持続可能な地域社会の実現に貢献する」ことをビジョンに主に食農分野における新規ビジネスに従事。

2018年には営農支援プラットフォーム「あい作」をリリース。

第4回
8/18(木)

第5回
8/19(金)



逸見 覚

(株) けんと放送 代表取締役社長
(株) スナップ新潟 代表取締役社長

1974年佐渡市(旧金井町)生まれ。佐渡高校～東京理科大学卒業後、(株) けんと放送にラジオパーソナリティとして入社、サンフランシスコ～ロサンゼルス留学を経て、現在代表取締役社長。2019年(株) スナップ新潟を起業し、代表取締役社長。新潟県のスタートアップ支援中核拠点として150名以上の学生が登録する起業家向けオンラインコミュニティ「SN@P サロン」を運営し、新潟県の開業率向上と同時に新潟から世界へ飛ばしたような成長性の高い起業家育成を目指す。(一社) 佐渡観光交流機構と「佐渡観光 NFT プランコンテスト 2022」を共催。趣味はトライアスロン(佐渡 A 完走できない)とサウナ(佐和田の Perch 好き)。

